

# 第110期 報 告 書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

## 第110期 報告書

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

### (1) 事業の経過及びその成果

当期におきましては、鉄鋼需要の低迷する中国からの鋼材の輸出圧力が強まったことに加え、国内においては人手不足の影響を受けた建設投資の工期遅れが出たことなどが、鋼材市況の低下につながりました。

このような状況のもと、当社におきましても製品出荷単価の低下や、いわゆる2024年問題を受けた物流コストの上昇などが顕著となった一方、脱炭素、資源循環の潮流を受けた電炉製品への需要の高まりを受け、製品出荷数量が前期比で3.7%増加して、製品売上額が過去最高となったことに加え、昨年まで上昇基調が続いていたエネルギー・諸資材の購入価格も一服したことから、営業利益は前期とほぼ同等の水準を確保できました。

売上高は、製品出荷数量の増加をうけ367,242百万円（前年実績361,245百万円）となりました。営業利益は38,066百万円（前年実績38,063百万円）、経常利益は39,719百万円（前年実績39,257百万円）とそれぞれ前年を上回り、当期純利益は27,958百万円（前年実績30,848百万円）となりました。

以上のような次第から、当期の期末配当金は、1株につき25円とし、既に実施いたしました中間配当とあわせ、年間の配当金を50円といたしたいと存じます。

### (2) 対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、需要の低迷する中国が鋼材輸出の姿勢を強めることで、海外市況への影響が懸念される一方で、国内鋼材市場においては製造業の需要回復を受けて鋼材需要は堅調に推移することが期待されます。このような状況のもと、当社といたしましては、社会における脱炭素・資源循環の意識の高まりから生じる当社製品への需要を確実に取り込みながら、全社一丸となって、歩留まりの向上や使用原単位の低減を一段と

進めるなど、徹底したコストダウンをはかることで、競争力の一層の強化に努めてまいります。

近年、社会全体での脱炭素シフトは不可逆的なものとなり、鉄鋼業において電炉の存在が不可欠であるという認識が浸透してきております。こうした動きを受けて、当社におきましても、田原工場における酸洗工場の再稼働など、電炉鋼板の本格的な拡大への準備を整えつつあります。今後も、わが国の貴重な資源である鉄スクラップを、より付加価値の高い鉄鋼製品へと「アップサイクル」させるチャレンジを進めるとともに、環境に優しい電炉鋼材の普及拡大による「カーボンマイナス」とあわせ、「循環型社会」「脱炭素社会」の実現に積極的に貢献してまいります。

当社は日々、弛まぬコストダウンと品質向上への取り組みを強力に推進し、多様化する需要家のニーズに確実に応えしながら、さらなる業績の向上を図るため、全社一丸となって、ますます尽力してまいります。

## 貸借対照表

2024年3月31日現在

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	百万円	(負債の部)	百万円
<b>流動資産</b>	195,696	<b>流動負債</b>	89,554
現金及び預金	52,219	電子記録債務	2,241
電子記録債権	1,026	買掛金	52,253
売掛金	35,820	未払金	5,492
有価証券	60,000	未払費用	16,546
商品及び製品	30,267	未払法人税等	7,917
原材料及び貯蔵品	13,987	契約負債	3,591
その他	2,413	預り金	206
貸倒引当金	△ 38	賞与引当金	1,054
<b>固定資産</b>	114,907	その他	250
<b>有形固定資産</b>	86,231	<b>固定負債</b>	17,142
建物	7,069	退職給付引当金	6,647
構築物	2,434	資産除去債務	189
機械及び装置	29,379	繰延税金負債	4,429
車両及び運搬具	346	その他	5,876
工具器具及び備品	5,151	<b>負債合計</b>	106,696
土地	33,060	(純資産の部)	
リース資産	608	<b>株主資本</b>	191,090
建設仮勘定	8,181	資本金	30,894
<b>無形固定資産</b>	350	資本剰余金	28,861
ソフトウェア	330	資本準備金	28,844
その他	19	その他資本剰余金	16
投資その他の資産	28,325	<b>利益剰余金</b>	174,633
投資有価証券	28,110	利益準備金	3,863
長期貸付金	64	その他利益剰余金	170,769
長期前払費用	42	圧縮記帳積立金	1,456
その他	107	繰越利益剰余金	169,312
貸倒引当金	△ 0	<b>自己株式</b>	△43,299
<b>資産合計</b>	310,604	評価・換算差額等	12,817
		その他有価証券 評価差額金	12,817
		<b>純資産合計</b>	203,907
		<b>負債・純資産合計</b>	310,604

## 損益計算書

2023年4月1日から  
2024年3月31日まで

科 目	金 額
売 上 高	367,242 <sup>百万円</sup>
売 上 原 価	301,930
売 上 総 利 益	65,312
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	27,245
営 業 利 益	38,066
営 業 外 収 益	1,734
受 取 利 息 及 び 配 当 金	680
そ の 他	1,054
営 業 外 費 用	81
支 払 利 息	14
そ の 他	67
経 常 利 益	39,719
特 別 利 益	1,059
固 定 資 産 処 分 益	33
固 定 資 産 売 却 益	23
投 資 有 価 証 券 売 却 益	222
国 庫 補 助 金	780
特 別 損 失	1,009
固 定 資 産 処 分 損	1,009
税 引 前 当 期 純 利 益	39,768
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	10,240
法 人 税 等 調 整 額	1,569
当 期 純 利 益	27,958

## 株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
期末配当金	毎年3月31日の最終の株主名簿により、お支払いいたします。
中間配当金	取締役会の決議があった場合には、毎年9月30日の最終の株主名簿により、お支払いいたします。
公告方法	電子公告 <a href="https://www.tokyosteel.co.jp/">https://www.tokyosteel.co.jp/</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によっては、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
株主名簿管理人	東京証券代行株式会社 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地 NMF竹橋ビル6階
郵便物送付先 (連絡先)	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター ☎ 0120-49-7009 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

- ・住所変更・単元未満株式の買取等のお申出先について  
お取引口座のある証券会社にお申し出ください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続につきましては、特別口座の口座管理機関である東京証券代行株式会社にお申し出ください。
- ・未支払配当金のお支払について  
株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。